

# 発達が気になる子の親支援講座

## 一子どもの気になる行動へのアプローチ

2024. 10. 17 江戸川区第4回親支援講座 (10:00~12:00)

江戸川区発達相談・支援センター 巡回相談員  
臨床心理士・公認心理師 湯浅 大朗

※ 今回、参加者の皆さまのイメージしやすさを重視して資料を作成しています。そのため、厳密には誤謬がある表現があります。その点には、ご理解とご留意をいただきますようお願い申し上げます。あくまでも参考としてお読みください。

1

### 私が思っている視点

発達には順番がある！

- 中心 → 末端
- 粗大 → 微細
- (言語)理解 → しゃべる
- 自分 → 他者(周り)

2

### 子どもが示す“困った行動”の背景

かんしゃく・どんな行動にも不参加  
必ず原因や理由がある！

状況を無視した行動      ルールの逸脱

3

### 子どもはからだときもちとことばで生きている！

4

### 困ってる！！

- いくら言っても、朝ご飯を食べない
- すぐにゲーム・TVをやめない(切替え)
- 注意すると、キれる・パニック
- 「わかった」が口癖!
- 言ったことを理解していない?
- 片づけをしない
- 外で、「痛い!」「助けて!」叫ばれる...
- 聞いてそっだが反応なし...
- 「行きたくない...」
- 順番を守らない
- 「うるせー」「別に」ばかり
- 友達を叩く(ケンカ)

5

### 困ってる!!!②

- 発達障害
- 多動
- 気になる子
- 指示が...
- 不安が...
- 不器用...

「育ちにくさ」や「学びにくさ」があり、「困っている」子どもたちがいる

どの子どもあと一歩で手が届く課題を与えられたときに一番伸びる

本人にとって難しすぎることを要求されたり、叱咤激励が飛びやすい

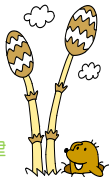
6

## 発達が気になるお子さんも一緒に

早期療育、発達支援、支援教育が勧められる意味・意義

- ①幼時からの相互作用の大切さ
- ②手立ての引き継ぎの重要性
- ③自尊感情や自己効力感の意義

静穏環境と年齢相応の生活規律



7

## 困ってる！（乳幼児期の発達のイメージ）

※ 富山短期大学幼児教育学科 石動瑞代先生

- ・1歳児 自立の芽生え
- ・2歳児 走り回る子ども（面白い・矛盾する年齢）
- ・3歳児 何でもする子ども（楽しそうな年齢）
- ・4歳児 発見する年齢
- ・5歳児 自信を持つ年齢
- ・6歳児 他者との関わりの中で自分をコントロールする。協力して生きていく力の芽生え

“〇〇歳でできなきゃダメ！” に捉われ過ぎると苦しい…

8

## どう関わる？

よく言われるのが、

「絵本などを読み聞かせてあげましょう」

お友達の関わりへの第一歩は、大人との遊びです。

⇒ お子さんが『この人と一緒に遊んだ方が一人遊ぶより楽しい!!』と感じる↑↑が大事

9

## どう関わる？

★言葉は、☆伝える手段☆ 反応が返ってきて初めて成立する！

★『〇〇と一緒にやりたい!』が、集団を意識する・一緒にやる意味（意義）になっていく第一歩！



お子さんの反応を、観て・のっかる(付き合う)

※ ずっとは無理なので、TV・スマホを消した5分～30分の交流くらいからOK！

10

## 就学前に育み、学齢期・思春期に芽吹かせたい！

・からだを整える という視点

・生活リズム（特に睡眠と食事）

・生活習慣を身につける  
（少しずつでも自分で）

・身体づくり

（運動・お手伝い；動きながら調節する）



11

## どう育ていくの？（発達期によるイメージ）

・小学校前期（～小3）…勤勉さ

・小学校後期（小4～）…抽象化、ギャングエイジ

・中学校期…他者評価、自分なりの基準

・高校期…独立、自分にとって何が大事か

12

### 小学校前期(～小3頃)

- 勤勉さ(≠真面目) …大人からの基準⇒『正しい!』

↳ 素直にそう捉える時期。先生や大人求められたことに応えられない。。自分には価値がない?!…となりやすい。

⇒ (学習以外でも) やってみて“できた”を味わう。

⇒ 周りからの声かけ・関わりで“できそう”

自分には  
価値がある

自分の〔得意/苦手〕を知る。  
良い点は、照れずに直接伝える  
(ジェスチャーや表情も大切)

何にどのくらい怒って  
いるか?!を伝える!  
(絵・数字等で分かりやすく)

13

### 小学校後期(小4～小6頃)

- 抽象化(≒客観視) …応用が利く・伝え方が上手に!  
↳ 相手の気持ちもわかる・考えられるようになってくる時期。

- ギャングエイジ…仲間が第一優先に!

↳ 自分の損得の基準で行動→悪癖・大人の基準から外れることも出てくる時期。

自分なりの役割や責任を  
体感・体験してもらう!

本人の努力の伴わない  
成功は、必要以上に  
褒めない!

14

### 中学校期

- 他者からの評価をとても気になる(気にする)時期

↳ 自分なりの基準を探す大切な試行錯誤の時期。

⇒ 自分と向き合う↑↑のため、ネガティブになりやすい!




⇒ 結果、自己中心的・反社会的な捉えになっちゃうこともある。

言語・非言語の一致  
大人と子供は別の価値観だと、  
親や先生自身も自覚しておく

失敗・NGな事も、  
(何かを)言われても、  
自分でやって実感する  
しか学べない!

15

### 子ども達と大人達の受け止め方の違い

|  | よい子  | ふつうの子   | わるい子  |
|--|--|---|---|
|  | 褒められる  | 褒められない<br>怒られない   | 怒られる<br>注意される   |
|  |  |  |  |

16

### どんな風に気づく・考えるとよい?(大事にしたい視点)

- ちょっかいを出してしまう。何度言っても繰り返してしまう子。
- “つい”、手が出てしまう子。



👉 繰り返してしまうには理由がある。

① ダメだと思っても、身体が止められない?



② 注意されている意味が分からない?

③ 理解の仕方が独特?

④ その他?

17

### “どんな”対応や関わりがよい?

- かまってもらいたい子に、一番堪えるものは、『ふつうの子』の状態⇒【褒められる/怒られる/放っておく・様子を見る】の差をつけることで、実感してもらうのはどうか?

- 頭より先に身体が動いてしまう子には、興奮しすぎると、自分で抑えること・上がったテンションを戻すことが困難!  
⇒ 興奮しすぎる前に、声をかけたり場所移動などで、目先を変えたり、少し落ち着かせてあげるのはどうか?

- 上手く言えない不器用さんには、一緒に『ささやき女将』作戦で、伝えられた経験を保障してあげてはどうか?

18

**かんしゃく・パニックをどう理解する？**

- 心のさけび…①どんな気持ちや世界観なのかな？  
②求めているものは？
- 声かけ・関わりが刺激になっていませんか？！  
⇒ 他者を気にしてる？・反応してる？  
⇒ 他者は関係ない（居ても居なくても同じ）

場所・目に入るもの（かんしゃくの対象）  
⇒ 場所移動 → しゃくりあげる・顔が上がったら声かけ  
⇒ 他のことに意識や目先をスライドさせる！

19

**全部、言うことを受け入れないといけない？！**

**•そんなことはありません！！**

- ①気持ちだけは、ぜんぶ受け入れ入れてあげましょう♪  
「〇〇って思ったんだね」「そういう風に感じたんだね」etc.
- ②事実は、ダメだと伝えても大丈夫です。  
「けど、叩いちゃうのはよくなかったね」⇒「〇〇ならOKよ」  
「〇〇って言いに行ってみる？」etc.

※ やってもよい方向に誘導する／別のものに意識をスライドさせてあげられるとよいかもしれません。

20

**全部、言うことを受け入れないといけない？！**

**•そんなことはありません！！**

【気持ち／事実】を分けて、話す・言葉を返す

意識が大事です！

※ 気持ちが整わなければいけない時もあると思います。その時は、感情的になったってしょうがない時がある！！

しかし、その伝え方でお子さんが学んで、やめる事はありません。それだけは、覚えておいてください。

21

**どんな風にな？(学齢-思春期の発達のイメージ)**

| 青年期  | 前思春期-思春期   | 就学前期-学童期  |
|--|--|---|
| 人信感や<br>は頼謝つ<br>実せでて<br>らね見い<br>ずば守る<br>つ姿<br>てを | 人任承耳話<br>はせ認をし<br>育てし傾合<br>たや けい<br>ずら<br>ね<br>ば | 人ほさ言や<br>はめせつつ<br>動てててて<br>かやみ聞き<br>じらせかせ<br>ね せ<br>は て |
| 斜め後ろから   | 横並び  | 前から   |

22

**家庭で交わされることば-10歳代から始まる自分創り-**

一方的に言い  
放たれる言葉は  
子どもの自律に  
あまり寄与しない

子どもを主語に  
した言葉かけは  
子どもの自律を  
大いに助ける

23

**普段の生活で、大人が心掛けたいこと**

- 子どもは【子ども】、私は【わたし】。
- 甘えさせる(子の成長につながる) vs 甘やかす(大人の都合)
- 主語は、省略しない！  
⇒ 「ありがとう」「うれしいわ」「助かるわ」  
⇒ 「ママは、悲しい」「先生は、嫌だなと思った」
- あきらめも、投げ出しも、時には肝心です！
- 「ウチはウチ。よそはよそ」でよい時もたくさんある！
- 他者をたくさん頼ってもよいと思います(但し、任せ放しにすると、お子さんの心の方が凍えますので、要注意です。)

24